

# 伝統工法の家 × 災害対策

JIA東海 災害対策セミナー2025

水野 友洋

# 名古屋市緑区





# 名古屋市中区





# 岐阜県各務原市



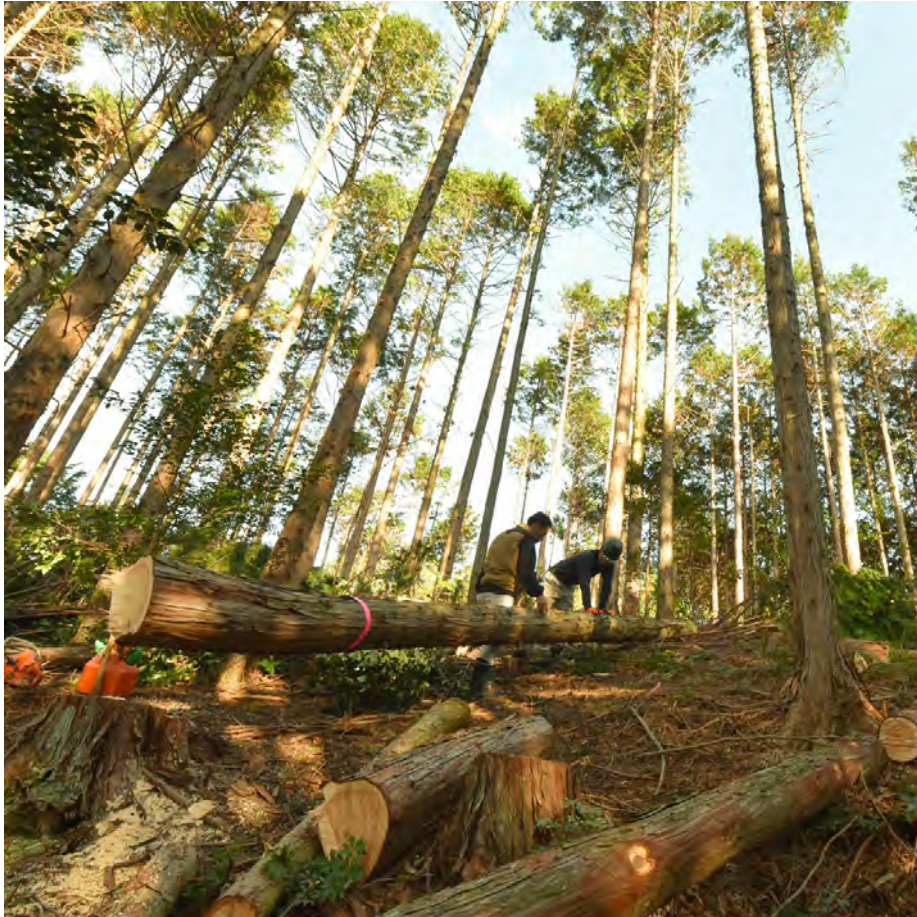


# 愛知県幸田町





# 1. 原木（山と市場）



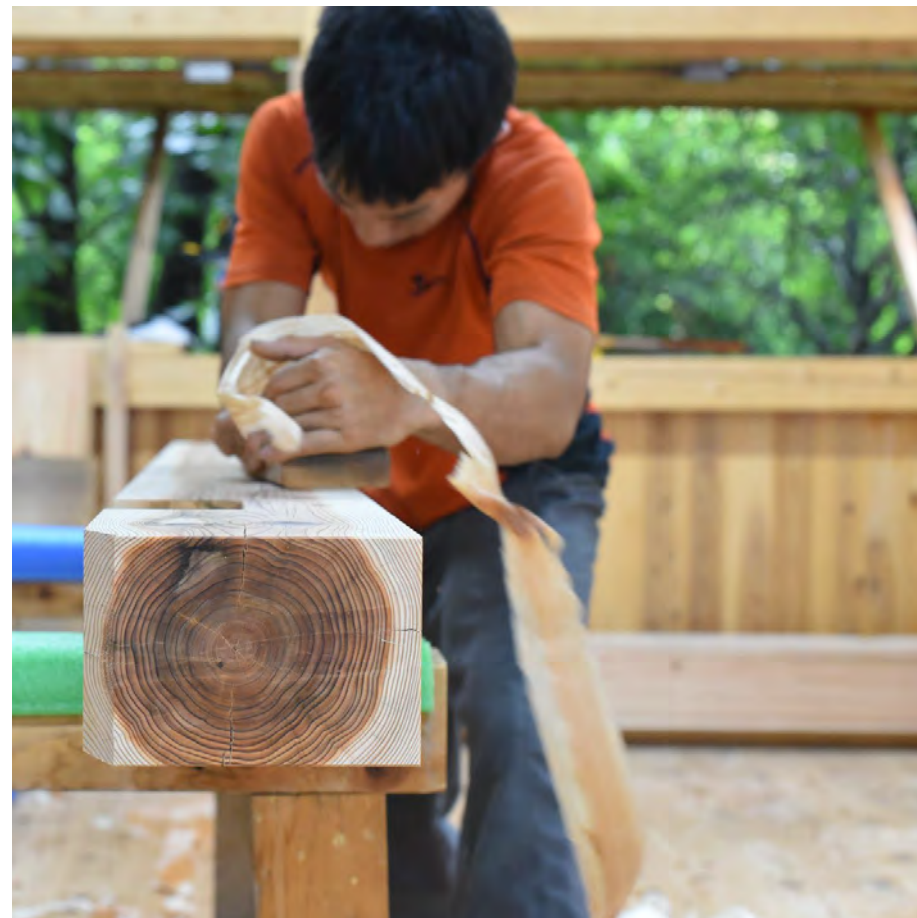


## 2. 製材（天然乾燥中の材木）





### 3. 加工（木の良さを生かして適材適所に手刻みする）





## 4. 基礎（石場建て基礎の石据え）





## 5. 建前（木と木を組む軸組木構造）





## 6. 木組みの構造（20代の大工職人たち）





## 7. 素材（土壁の藁と土）





## 8. 竹小舞下地土壁（竹を編んで土を塗る土壁構造）





## 9. 竹小舞の構造 (20代の左官職人たち)





## 10. 真壁の伝統工法の家（構造即意匠）



# 伝統工法の家づくりの災害対策

- ・ 自然の素材でつくる → 解体時にゴミが少ない
- ・ 職人の手仕事でつくる → いつまでも直し続けられる
- ・ 構造即意匠の真壁 → 家を長く持たせる
- ・ 地面を固めすぎない → 土地を長く持たせる
- ・ 自然素材の生産体制 → 災害に強い里山の維持



# 天然乾燥材のストック（災害時の為の材木備蓄）

- ・ 手刻みで加工する為には天然乾燥材が必要。
- ・ 乾燥期間は、桧で約1年、杉で約2年。

## 乾燥期間中は材木の備蓄状態

- ① 材木を災害時に仮設住宅に利用する仕組み
- ② 材木を平常時にストックするリスク分散

# 伝統工法の家づくりの概要

- ・ 工期 1 年 (工事期間 1 年 + 材木天然乾燥期間 1 年)
- ・ 5 棟 / 年 (窓口・設計 2 人・・・設計事務所 1 社)
- ・ 2 棟 / 年 (大工 3 人・・・大工工務店 1 社)
- ・ 30 m<sup>3</sup> / 棟 (構造材・羽柄材・造作材・板材)
- ・ 600 m<sup>3</sup> / 年 (製材量・・・小規模製材所 3 人)



# 小規模製材所 1 社

- ・ 製材量 6 0 0 m<sup>3</sup>/年
- ・ 2 0 棟/年 (600m<sup>3</sup> ÷ 30m<sup>3</sup>/棟)
- ・ 設計 8 人 (20棟 ÷ 5棟/2人)
- ・ 大工 3 0 人 (20棟 ÷ 2棟/3人)

# 木の家ネット岐阜

- ・手刻み・土壁の家作りを実践している築事業者の集まり（8社）
- ・八百津町（人口1万人）
- ・2018年に3人で活動開始

- ① 設計事務所 2社（設計3人）
- ② 材木工務店 1社（設計1人＋大工3人）
- ③ 大工工務店 5社（設計1人＋大工9人）

10棟／年間・300m<sup>3</sup>／年間



# 愛知・岐阜

- ・ 愛知県 54市町村
- ・ 岐阜県 42市町村

約100市町村の 1 割の10市町村で実践した場合  
10社の小規模製材所（設計80人・大工300人）  
 $600\text{m}^3/\text{製材所} \times 10\text{社} = 6,000\text{m}^3$

※ 1箇所集中ではなく分散されてている状態

# 木の家ネット岐阜の活動（木のジャングルジム）





# 木の家ネット岐阜の活動 保育園での木育



# 木の家ネット岐阜の活動 地域のイベント





# 木の家ネット岐阜の活動 地域のイベント



# 木の家ネット岐阜の活動 木組みのバス停

